クラズ通信

麻生校・円山校・札幌駅前校

クラズユニック
中学部　5月17日発刊
令和４年 ５ 月号

保護者の皆様へ　　理事長・校長　福島新四郎

この「クラズ通信」を通じてクラズユニックとご家庭との連携を密にし、お子様の受験準備の一助となるよう願い、発行をしています。生徒の皆さんの成功を祈りつつ、時には辛口の内容もあるかとは存知ますが、意のあるところをお汲み取りいただき、とにかく「合格」の二文字を目指して指導します。 ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

新年度指導方針・指導内容

小中学部担当　麻生校 黒川 ／ 円山校 井尾 ／ 札幌駅前校 原

４月から新年度も始まり新学年になって１ヶ月余り、間にはゴールデンウィークも挟みましたので、今、中学新学年としての日常に慣れたところでしょうか。

当校での新学期も順調に１か月が過ぎ、ここで改めて新年度の指導方針や指導内容についてお話させていただきたいと思います。

１．高校入試の出題方式変更に向けた学習と指導方針

2022 年から北海道の公立高校入試制度が変更となりました。内容に関しては以前の通信で記載した通りとなります。それを踏まえて今年度は対策を練って指導することとなります。

今までの受験では、知識を獲得して処理する力を伸ばせばできた**「情報処理能力型（ジグソーパズルのように枠組みの中で処理）」**でしたが、今後は積み上げた知識を編集していく力、**「情報編集能力型（レゴブロックのように組み合わせたりして創造する力）」**が求められてきています。

しかしながら、範囲が大きく変わるわけではありませんので、あくまで今まで通り「やるべきことをやる」という姿勢が重要になってきます。このことは当然他学年についても言えることですし、**新１～２年生**はまず、**学習のリズム＆習慣**を早い段階で身に付けることに主眼を置いてほしいと思います。

誰でも目標までの１～３年の長期的展望をいきなり明確に描くことは難しいでしょう。皆さんの受験までの期間を考えたとき、おそらくその時間はまだまだ遠い先のことのように感じるかもしれません。しかし焦る必要はないにしても、日常の学習はとても大切です。特に北海道では入試において（副教科（４教科）も含めた）内申点が重要になってきます。このことはおそらく学力試験の変更があってもなおしばらくは続いていくと考えられます。つまり、**中学１年生の１学期中間テストから入試に向けた競争が始まっている**ということになるのです。

これら高校入試の特性を踏まえたうえで、当校では、学校での定期試験の点数をまずはしっか

＜裏面に続く＞

りと取り、そのうえで、例え入試制度の変更などがあったとしてもそれに振り回されないような学力を身につけさせることを目標に、高校入試までの期間、質・量ともに高いレベルを目指した取り組みを行っていきます。もっとも、人生の挑戦において高校入試の先にもまだまだ難関は待ち構えています。本人が目標や進路を明確に自分の中に描くことができるようにアドバイスすること、また、その進路を着実に進むことのできるように力をつけさせていくことも同様に、我々に課せられた大きな任務であると考えております。

生徒一人一人が大きく成長し羽ばたいていけるよう、全力でサポートして参ります。

２．指導内容と教材

麻生校では前述の通り、内申点や定期試験を意識し、メインとなるテキストは学校の教科書準拠教材を使用します。（円山校・札幌校では学校使用の教材を中心に個人指導を行います）学校での学習内容の理解、問題演習を通じた得点力強化を意識した構成です。

また、各単元にポイント解説の映像を用意しています。塾に来た時だけでなく、ご家庭でも視聴できますので、苦手単元の復習や理解度の向上にお役立て下さい。（以上麻生校）

メインとなる準拠教材の他に、演習量確保及び高難度の入試問題に対応することを目的として各種プリント教材を取り入れています。進度、定着度ごとに類問を繰り返し演習できる「ｅトレ」というデータ教材も活用していきます。また、定期試験対策授業や総合テスト対策、各講習などで基本から応用まで、幅広い問題に対応できる力をつけていってもらいたいと考えています。

教科としては、長期的観点から英数の実力強化に主眼を置いて指導を行っていきます。5 教科総合的な得点力アップを目指した理科社会の演習は、主に春期、夏期、冬期の講習期間に重点的に取り組んでいく予定です。また、入試に向けた初見の文章読解（国語および英語）の演習も、講習期間など定期試験対策の急を要しないタイミングに実施していきます。

応用問題を含む学習量確保を念頭に、ご家庭でやっていただく塾のＨＷ（ホームワーク）を本人に提示していきますが、ご家庭のご都合や部活動など、本人が無理せずこなせているかどうかだけ気にかけて下さい。中学生の体力と本人のやる気は決して比例しているとは言えませんので、負担に感じているようでしたら早めにお知らせ下さい。

また、一つ注意点として、内申評価では主要 5 教科だけでなく副教科（4 教科）も均等に配点されます。特に副教科に関しては定期試験に向けて勉強し、点数を取っただけでは思うような評価を得られないかもしれません。もちろん教科ごとに得手不得手はあるかとは思いますが、提出物など、必要最小限の取り組みをしっかりと行うという部分に関してはご家庭でもアドバイスして頂ければ生徒本人にとってとても有効です。

末筆ですが、コロナ禍で大変な時代を生きることになった生徒たちが、これからも前を向いて突き進んでいってくれることを心より期待しています。学習内容や使用教材、各種検定について、ご質問・ご要望などありましたらお気軽にお申し出下さい。今後ともよろしくお願い致します。

学校法人 クラズユニック

＜5 月～6 月の予定＞は右下の「QRコード」からHP上でご覧下さい。緊急時連絡はラインでお知らせ致します。

麻生本校☎011－716－7162　札幌駅前校☎011－299－6030

円山校　☎011－613－7755

麻生本校　小中学部　円山校　中学部　札幌駅前校　高校部